

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名								内山 百寿			
オリエンテーション・導入教育 I				必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	30	授業回数	15
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
【学習内容】 美容業界の第一線で活躍し、世界一の現場を経験した教員による「プロフェッショナルの思考法」を学ぶ。教室での座学に留まらず、横浜中華街などの学外研修や、正解のないクリエイティブワークを通じ、現場で不可欠な「観察力」「適応力」「対人コミュニケーション能力」を実践的に習得する。 【心構え】 美容の世界には、一つの正解はない。本授業では「正解を探す」のではなく「自分なりの答えを導き出し、それを他者に伝える」プロセスを重視する。学外での活動を含め、あらゆる体験を美容のインスピレーションに変える「感性のアンテナ」を常に高く持つこと。											
【到達目標】 思考の柔軟性：既成概念に捉われず、「正解のない問い」に対して自分なりのクリエイティブな回答を提示できる。 観察と分析：学外研修（横浜中華街等）を通じて、色彩、造形、接客などのプロの視点から街を観察し、アウトプットできる。チームビルディング：共通の体験を通じてクラスメイトとの信頼関係を築き、互いの個性を尊重し合える。 プロ意識の醸成：技術以前に大切な「愛される人間性」と「現場での立ち振る舞い」を理解する。											
【使用教材、参考文献等】 iPadまたはデスクトップPC、筆記用具					【準備学習・時間外学習】						
回	【授業概要】					到達目標(できるようになること)					
1	【マインドセット:正解のないワーク】 「美容に正解はない」を体感するワークショップ。直感と感性を言語化し、他者の価値観に触れる。					・自分の感性を言葉や形にする楽しさを知る。 ・他人の意見を否定せず、多様な正解があることを理解する。					
2											
3											
4											
5	【マインドセット:正解のないワーク part2】 「美容に正解はない」を体感するワークショップ。直感と感性を言語化し、他者の価値観に触れる。					・自分の感性を言葉や形にする楽しさを知る。 ・他人の意見を否定せず、多様な正解があることを理解する。 ・part1の反省と振り返りを活かす					
6											
7											
8											
9	道具揃え、次回学外実習の準備					初回授業の準備を行う					
10											
11											
12	【学外実習:横浜中華街インスピレーション】 横浜中華街でのフィールドワーク。色彩感覚の養成や、人気店の接客・演出をプロの視点で観察。					・日常の景色から美容のヒントを見つけ出す「観察眼」を養う。 ・集団行動におけるマナーとコミュニケーションを実践する。					
13											
14											
15											
【特記事項・授業時間外における学習】					【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名								内山 百寿			
プロフェッショナルへの道 I				必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	30	授業回数	15
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
ブライダル業界最大手で営業・プランナー・運営を経験後、美容師科で国試・就職へと導いてきました。専門学校は「就職」を叶える場所。現場のリアルを知る私だからこそ伝えられる「社会で愛されるコツ」があります。皆さんが自分らしく、自信を持ってプロの世界へ羽ばたけるよう全力でサポートします。 ①「NO否定!ALL肯定!」:自分と仲間の可能性を否定しないこと。 ②「現場ファースト」:教室を現場、クラスメイトをお客様や先輩だと思って過ごすこと。 ③「失敗は宝物」:ここで失敗を予習し、対策を知ること、本番に強いプロを目指します。											
【到達目標】 ヘアメイク・美容業界の多様な職種を理解し、自分の「目指したい方向」を具体化できる。 社会人としての基本マナー（挨拶・返事・身だしなみ）を、意識せずに実践できる。 7月の実習に向けて、「現場で起こる壁」への対処法を知り、心の準備ができていく。自分の強みを発見し、他者にポジティブに伝えられるようになる。											
【使用教材、参考文献等】 iPadまたはデスクトップPC、筆記用具						【準備学習・時間外学習】					
回	【授業概要】					到達目標(できるようになること)					
1	オリエンテーション:プロの定義を広げる					「技術+人間力=プロ」の方程式を理解する。					
2	業界分析:ヘアメイク科の出口はどこ?					職種(映像、ブライダル、サロン等)の具体例を知る。					
3	「愛されるプロ」の条件:データで見る現場の本音					現場が新人に求める「マナー」の優先順位を理解する。					
4	セルフプロデュース:自分の「強み」発見ワーク					自分の個性を言葉にし、肯定できるようになる。					
5	挨拶・返事の「先制攻撃」トレーニング					ニング□0.5秒の返事が現場に与える安心感を体感する。					
6	失敗の予習(1):現場の「理想と現実」を知る					実習で起こりうる「きついシーン」を具体的に想定する。					
7	中間試験:自己成長確認ワーク&筆記					これまでの学びを振り返り、自分の変化を言語化する。					
8	フィードバック:試験結果と「プロの顔つき」					自分の立ち振る舞いがどう見えるか、客観的視点を持つ。					
9	失敗の予習(2):「何もすることがない時」の立ち回り					指示待ちにならず、現場で「動ける人」になる工夫を学ぶ。					
10	コミュニケーション:プロの聞き方・話し方					お客様や先輩との距離を縮める「肯定の会話術」を習得。					
11	実習直前!シミュレーション演習(基本動作)					立ち姿、敬語、道具の扱いなど現場マナーの総仕上げ。					
12	メンタルガード:心が折れそうになった時の対処法					ストレス解消法や、先生・仲間への相談の仕方を学ぶ。					
13	実習のしおり作成:自分の「実習ミッション」設定					「これだけはやり遂げる」という自分との約束を決める。					
14	定期試験:プレゼン「私のプロフェッショナル宣言」					7月の実習に向けた意欲と目標をクラスで共有する。					
15	前期総括:15回の歩みと実習への送り出し					全員で実習への士気を高め、プロの輝として出発する。					
【特記事項・授業時間外における学習】						【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員			
授業科目名		業界研究 I						内山 百奏			
		必修 選択	必修	授業 形態	講義	時間数	15	授業 回数	集中		
[授業の学習内容と心構え] (実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
〈教員経歴〉ブライダル業界を経験後、美容師科の教育に携わりヘアメイク系の仕事へも学生を導いてきた講師が、ヘアメイク業界・化粧品業界を理解させるために集中講座を開講する。											
[到達目標]											
ヘアメイク業界・化粧品業界を理解する。											
[使用教材、参考文献等]					[準備学習・時間外学習]						
回	[授業概要]					到達目標(できるようになること)					
1	【授業単元】業界人の講話や自宅課題も含めて業界について理解する。					ヘアメイク業界・化粧品業界について理解して、将来像をイメージできるようになる。					
2											
3											
4											
5	【授業単元】業界人のデモンストレーションや講話、校外見学を経て、業界の実態を理解する。					デモンストレーションで業界で求められる技術・心構えを理解して、校外見学で実態を理解できるようになる。					
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
[特記事項・授業時間外における学習]					[成績評価の方法と基準]						
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)						
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員			
授業科目名								関 亜沙美			
ベーシックメイク I				必修 選択	必修	授業 形態	演習	時間数	60	授業 回数	30
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する) 美容師として2年間勤務後、メイクアップアーティストやビューティーアドバイザー、またサロンメイクなどのメイクアップの教育に30年間以上携わりヘッドスパサロンでセラピストとしても20年勤務。現在、他美容学校、美容商材会社アカデミー、メイクサロン、アイブロウサロンのメイクアップ講師、ヘッドスパニストも勤める講師が時間内に基本的なメイクアップが習得できる実践的な授業をおこないます。 学内メイク検定の合格を目指し基本的なフルメイクを学びます。											
【到達目標】 基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を取得する。Jキャリアメイク検定合格 学内メイク検定の合格を目標に、フルメイクをする為のマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術を修得する。テキストに基づいてメイクをする際のポイントや注意点を学び、相モデルにて反復練習と技術チェックで身につけていく。学内検定科目ではあるが、様々なメイクが出来るようになる為に重要な基本技術である。											
【使用教材、参考文献等】 BasicMake-upテキスト メイク道具一式 筆記用具 iPad						【準備学習・時間外学習】					
回	【授業概要】					到達目標(できるようになること)					
1・2	授業内容確認・教材確認・メイク前準備・スキンケア手順					Jキャリア認定メイク検定の概要理解、メイク道具を把握しスキンケアの手順を覚える					
3・4	テーブルセッティング・スキンケア実技・ファンデーション理論、実技					メイク道具セッティング～スキンケア～ファンデーションを相モデルで実践出来る					
5・6	コンシーラー・フェイスパウダー理論、実技					2回目迄の技術をふまえコンシーラーとフェイスパウダーを相モデルで実践出来る					
7・8	ハイライト・シェイディング理論、実技					3回目迄の技術をふまえハイライト・シェイディングを相モデルで実践出来る					
9・10	アイブロウ理論、実技					4回目迄の技術をふまえアイブロウを相モデルで実践出来る					
11・12	リップ理論、実技					5回目迄の技術をふまえリップを相モデルで実践出来る					
13・14	中間試験					ここまでの一連の技術をタイムを意識して相モデルで実践出来る					
15・16	アイメイク理論、実技					7回目迄の技術をふまえアイメイクを相モデルで実践出来る					
17・18	チーク理論、実技					8回目迄の技術をふまえチークを相モデルで実践出来る(フルメイクに到達!)					
19・20	フルメイク50分 タイム計測					フルメイクを50分で実践できる					
21・22	フルメイク40分 タイム計測					フルメイクを40分で実践できる					
23・24	フルメイク35分 タイム計測・筆記模擬試験					フルメイクを35分で実践できる 筆記試験の模擬をおこない対策ができる					
25・26	フルメイク32分 タイム計測・検定注意事項読み合わせ					フルメイクを32分で実践できる 検定注意事項を確認し当日の対策が出来る					
27・28	Jキャリアメイク検定と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施					Jキャリアメイク検定当日と同じ流れでおこない検定対策が出来る					
29・30	定期試験：Jキャリアメイク検定と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施					Jキャリアメイク検定当日と同じ流れでおこない検定対策が出来る					
【特記事項・授業時間外における学習】					【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験40点、定期試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。						

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員			
授業科目名		石丸美沙子・平澤香織									
ベーシックメイクⅡ				必修 選択	必修	授業 形態	演習	時間数	60	授業 回数	30
【授業の学習内容と心構え】（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
石丸：有名アーティストなどのヘアメイクやファッションショーのバックステージ、講師業を15年以上有し、海外2店舗、国内2店舗のサロン経営から、海外での美容事情など様々な視点から美容業界の情報を発信していきます 平澤：国産化粧品ブランドにて13年間勤務。その内、6年間メイクチームに所属。東京コレクションのバックステージや外部のメイク講習を経験した講師が基礎から教えます。											
【到達目標】											
メイクの基礎技術を学び、テーマにあわせたメイク技術に必要な応用技術、デザイン力、バランス力を習得することができる											
【使用教材、参考文献等】					【準備学習・時間外学習】						
回	【授業概要】					到達目標(できるようになること)					
1・2	授業内容の確認・教材確認・講師紹介					教材の説明・分析、技術スタンス、テーブルセッティングを実施し習得し、メイクの歴史についてグループワークを行う					
3・4	ベースメイクテクニックⅠ					皮膚の構造、ファンデーションの基礎知識、色の合わせ方、コントロールカラーの使い方、コンシーラによるスポットカバーを習得する					
5・6	ベースメイクテクニックⅡ					骨格分析、ハイライト、ローライトを学び、立体感を出す多色使いを実施し習得する					
7・8	アイメイクテクニックⅠ					ブラシの使い方、シングルフォームを習得する					
9・10	アイメイクテクニックⅡ					アイライナー、ビューラー、マスカラ、六分割アイラインバリエーション					
11・12	中間試験練習【コントゥアリング+シングルフォーム】					ハイライトとローライトを駆使した立体的なベースメイクからシングルフォームまで完成させる					
13・14	中間試験【コントゥアリング+シングルフォーム】					(40点)	ハイライトとローライトを駆使した立体的なベースメイクからシングルフォームまで完成させる				
15・16	アイブロウテクニックⅠ					アイブロウ基礎知識、アイブロウペンシルの削り方、基本の描き方習得する					
17・18	アイブロウテクニックⅡ					形によるイメージ表現習得する					
19・20	チーク・リップテクニック					チーク・リップの基礎知識を習得する					
21・22	トータルメイクアップ					TRACE MAKE-UP ミニマリズムを習得する					
23・24	メイクアップコンポジション					アイメイクにポイントをおいたメイクアップを習得する					
25・26	定期試験練習【メイクアップコンポジション】					チーク・リップにポイントをおいたメイクアップを習得する					
27・28	定期試験【メイクアップコンポジション】 + 【筆記試験】					(60点)	チークにポイントをおいたメイクアップを完成させる				
29・30	前期振り返り										
【特記事項・授業時間外における学習】					【成績評価の方法と基準】						
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)						
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験40点、定期試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。						

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名		ベーシックヘア I						石丸美沙子・武富帆乃花			
		必修選択		必修		授業形態	演習	時間数	60	授業回数	30
[授業の学習内容と心構え] (実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
有名アーティストなどのヘアメイクやファッションショーのバックステージ、講師業を15年以上有し、海外2店舗、国内2店舗のサロン経営から、海外での美容事情など様々な視点から美容業界の情報を発信していきます											
[到達目標]											
ベーシックなスタイルからトレンドスタイルまで幅広く基礎技術を身につけ、サロンスタイルや現場実習に対応できる力を習得することができる											
[使用教材、参考文献等]						[準備学習・時間外学習]					
回	[授業概要]					到達目標(できるようになること)					
1・2	授業内容の説明・講師紹介・ブッキング・スライス					セッティングをしてウィッグになれる					
3・4	ヘアスタイルの基礎知識					ピンの用途を再認識し、ピンの特性を理解しピンニング技術を習得する					
5・6	ポニーテールスタイル					一束ゴム結びの技術を習得し、高さ別の特性・ゴム隠しを習得する					
7・8	小テスト【ポニーテールスタイル】					(10点)	ポニーテールスタイルアレンジ(ピンニング・一束ゴム結び)を完成させることができる				
9・10	シニヨンスタイル					すき毛の作り方を学びシニヨンスタイルを習得する					
11・12	中間試験練習【シニヨンスタイル】					1～5で習得した技術を用いてシニヨンスタイルを完成させる					
13・14	中間試験【シニヨンスタイル】					(20点)	1～6で習得した技術を用いてシニヨンスタイルを完成させる				
15・16	ホットカーラー巻き					ホットカーラー巻きを習得する					
17・18	夜会巻きスタイル					ベーシックな夜会巻きスタイルを完成させることができる					
19・20	小テスト【夜会巻きスタイル】					(10点)	ベーシックな夜会巻きスタイルを完成させる				
21・22	トレンドヘアスタイル					最新のコレクション情報やトレンドヘアを習得する					
23・24	アレンジスタイル					流行りの小技テクニックを習得してスタイルを完成させる					
25・26	定期試験練習【夜会巻きアレンジスタイル】					1～13までの技術を用いて夜会巻きアレンジスタイルを完成させることができる					
27・28	定期試験【夜会巻きアレンジスタイル】					(60点)	1～13までの技術を用いて夜会巻きアレンジスタイルを完成させる				
29・30	浴衣パーティー										
[特記事項・授業時間外における学習]						[成績評価の方法と基準]					
						●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)					
						●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験40点、定期試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。					

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員			
授業科目名		ベーシックヘアⅡ						石丸美沙子・菅野舞			
		必修 選択		必修		授業 形態	演習	時間数	60	授業 回数	30
【授業の学習内容と心構え】（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する） 有名アーティストなどのヘアメイクやファッションショーのバックステージ、講師業を15年以上有し、海外2店舗、国内2店舗のサロン経営から、海外での美容事情など様々な視点から美容業界の情報を発信していきます											
【到達目標】 道具の名称や使い方、結ぶ・とめる・巻く・編むの基本技術を習得することができる。また、実際に人に施すヘアスタイルを想定し、ヘアの応用技術を習得することができる											
【使用教材、参考文献等】						【準備学習・時間外学習】					
回	【授業概要】					到達目標(できるようになること)					
1・2	授業内容の説明・教材の確認・ヘアの基礎知識・講師紹介					道具の名称や頭部の名称などの基本用語を学び、技術スタンス、テーブルセッティングを実施し習得する					
3・4	ブロースタイルⅠ					ハンドドライ、ブロー技術を習得する					
5・6	ブロースタイルⅡ					ストレートアイロン技術を学び、パートバリエーション、スライスに合わせたコームの使用方法を習得する					
7・8	小テスト【ブロースタイル】					(10点)	ハンドドライ、ブロー、ストレートアイロン技術を使いスタイルを完成させることができる				
9・10	編み込みスタイル					編み込み・裏編み込み・片編み込み・裏片編み込み・フィッシュボーン・四つ編み技術を習得する					
11・12	中間試験練習【編み込みスタイル】					編み込み・裏編み込み・片編み込み・裏片編み込み・フィッシュボーン・四つ編み技術を習得する					
13・14	中間試験【編み込みスタイル】					(20点)	編み込み・裏編み込み・片編み込み・裏片編み込み・フィッシュボーン・四つ編み技術を習得する				
15・16	カールアイロンスタイル					コテを使用した巻き方の様々なバリエーションを習得する					
17・18	ハーフアップスタイル					三つ編み、編み込み、片編み込みなどの技術を使ってハーフアップスタイルを完成させる					
19・20	小テスト【ダウンスタイル】					(10点)	カールアイロン技術を使ってダウンスタイルを完成させることができる				
21・22	編み込みスタイルバリエーション					丸四つ編み技術を習得しスタイルを完成させることができる					
23・24	アップスタイルⅠ					タイトロープ、ロープ編み技術を使ってアップスタイルを完成させることができる					
25・26	定期試験練習【編み込みバリエーションを使ったスタイル】					玉ねぎツインテールを完成させる					
27・28	定期試験【編み込みバリエーションを使ったスタイル】 + 【筆記試験】					(60点)	玉ねぎツインテールを完成させる				
29・30	前期振り返り										
【特記事項・授業時間外における学習】						【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験40点、定期試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。					

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員 内田由香・橋本勇人・小峰奈々			
授業科目名				必修 選択	必修	授業 形態	演習	時間数	60	授業 回数	集中
現場トレーニング I											
[授業の学習内容と心構え]（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
日本ネイリスト協会の常任本部認定講師、本部認定講師が担当し、ネイルサロンの勤務経験を活かし基礎となる専門技術と専門知識をお伝えします。 JNECネイリスト技能検定試験、試験官経験のある講師から合格への重要ポイントを学ぶ事ができる。											
概要： この科目ではネイリスト技能検定試験を通じて 衛生と消毒、爪の構造、爪の病気とトラブル、ネイルの技術形態、テーブルセッティング、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、 ネイルケアの安全な技術、カラーリング、フラットアート(イラスト) ネイルアートの技術を修得する トータルビューティを学ぶ学生にとって基本的な技術である											
[到達目標] ネイリスト技能検定3級試験に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルブッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げる事ができる											
[使用教材、参考文献等] JNAテクニカルシステムベーシック 公式問題集 配布教材 エブロン バスタオル1～2枚（アームレスト用） ハンドタオル1枚（ハンカチタオル/無地） ビニール袋(大きさB5～A4位、ノット位の大きさ※取っ手のついて無いもの) セロテープ（両面テープも） キッチンペーパー（ ロールタイプ ）2枚1組を6組以上 筆記用具（マーカー、鉛筆、消しゴム、油性マジック） ハサミ メモ帳 タイマー コットン ヘアゴム、ダッカール等 iPad						[準備学習・時間外学習] ◎公式問題集3級A～E問題（5パターン）を各自試験までに解く事 ネイリスト技能検定試験3級 7月19日（日） ◎検定試験事前仕込み日（本番モデル同伴必須）7月18日（土） ※7月18、19日とも本番モデルを同伴すること ◎自宅課題・自主学習含む。					
回	[授業概要]					到達目標(できるようになること)					
1・2・3	講師紹介、シラバス コマシラ読み合せ（検定試験に向けて） 教材説明、 ネイルケアの用具用材と使用目的 p71,72（ラベル貼り） テーブルセッティング[基本的なテーブルセッティング p70] 学科[ネイルの技術形態 p14～19]					教材の名称と使用目的を覚える 基本的なテーブルセッティングを覚える					
4・5・6	学科[爪や皮膚の病気とトラブル p30～36] [手指消毒p74] テーブルセッティング確認 教材ラベル貼りの確認 エメリーボードの面取り確認 ウッドスティックの削り コットンスティック作成※大、小の其々の用途の説明 [カットスタイル別ファイリングp85～91] 手指消毒 ファイリング（ラウンド）デモ→相モデル 復習動画あり					爪の名称を覚え、構造と動きを検定試験までに覚える 基本的なテーブルセッティングができる 5種類のカットスタイルを覚える エメリーボードの持ち方、支えを覚える					
7・8・9	テーブルセッティング確認、ファイリング（ラウンド）デモ→練習 ブッシャーの使用法動画→相モデル練習 ニッパーデモ→相モデル練習 復習動画あり					爪の名称を覚え、構造と動きを検定試験までに覚える お客様の手の持ち方とどちらか加減を覚える メタルブッシャーの用途、持ち方、動かし方、角度を覚える ニッパーの用途、持ち方、動かし方、角度を覚える					
10・11・12	テーブルセッティング確認 ファイリング確認 ケアデモ→練習 相モデル （カラーリング動画視聴）					正しい手順でファイリング～ケアが行える ブッシャーとニッパーの正しい角度、持ち方、動かし方、支えができる					
13・14・15	テーブルセッティング確認 ファイリング確認 ケアデモ→練習 カラーリングデモ（動画視聴）→練習 相モデル					正しいファイリング～ケアの手順を覚え実践できる 正しい手順でファイリング～ケアが行える ブッシャーとニッパーの正しい角度、持ち方、動かし方、支えができる カラーのブラシワークを理解する					
16・17・18	要項説明 テーブルセッティング確認、カラーリングの練習 フラットアート(イラスト 花) 動画 [バラの描き方(17'06")]→自分の手で練習					検定試験の内容を把握し、アート(デザイン)を決める。 アートを綺麗に仕上げる。					
19・20・21	3級タイムトライアル(相モデル)					時間内に仕上げる事が出来る					
22・23・24	3級タイムトライアル(相モデル)					時間内に仕上げる事が出来る					
25・26・27	検定対策※モデル同伴可能(モデル同伴推奨) テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート最終確認、タイムトライアル					時間内に仕上げる事が出来る					
28・29・30	自主練習課題・試験前日準備・試験当日受験					時間内に仕上げる事が出来る					
[特記事項・授業時間外における学習] ネイリスト技能検定試験3級 7月19日（日） ◎検定試験事前仕込み日（本番モデル同伴必須）7月18日（土） ※7月18、19日とも本番モデルを同伴すること						[成績評価の方法と基準] ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験40点、定期試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。					

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員			
授業科目名		佐々木さをり						時間数	15	授業 回数	集中
デザインイラスト演習 I		必修 選択		必修		授業 形態					
【授業の学習内容と心構え】（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
SHISEIDO、アルビオン、デコルテ、エレガンス、カパーマークなどコスメアドバイザー、コスメコンシェルジュ、コスメマイスター、コスメティックアクターなど多数の資格を有する講師が、カラーアナリストアカデミーにて本部講師を担当。現在も店頭でコスメアドバイザーとして活躍中の講師											
多方面で活躍するヘアメイクアーティストから、実際の仕事でも活用することができるフェイスチャート（メイク）とイラスト（ヘア）の描き方を基礎から教わることで、様々なデザインをより明確に第三者に向けて伝えるためのイラスト技術を得得する。											
【到達目標】											
各授業デモンストレーション時のメモと、スチール撮影、コンテスト時に使用するコンセプトシートの描き方（電子&メイク道具）を習得し、様々な業種、アプローチ方法の選択肢を広げる											
【使用教材、参考文献等】						【準備学習・時間外学習】					
i-pad、メイク道具一式											
回	【授業概要】					到達目標(できるようになること)					
1	オリエンテーション・色とデザインの関係・授業概要・メイクと色彩の関係（印象操作） ・手書き／iPadの役割										
2	顔の基本バランス（手書き）・顔の黄金・パーツ配置 ・シンプル着彩										
3	色彩基礎①（色の仕組み）・色相／明度／彩度 ・色相環の理解・補色・類似色										
4	パーツ別メイク表現 ・目／眉／リップ・質感（マット・ツヤ）・色の乗せ方										
5	色彩基礎②（配色テクニック） ・トーン（パステル・ビビッドなど）・グラデーション・配色パターン（同系色／反対色）										
6	テーマ別デザイン制作（手書き） ・色彩理論を使ったメイクデザイン（例：フェミニン／クール／モード）・簡単なプレゼン										
7	中間試験 ・テーマ＋配色指定ありのデザイン制作・評価：色彩理解＋デザイン力										
8	現場実習①（コスメ売り場） ・ブランドカラー分析・売れる色（人気色）の観察・ターゲット層と色の関係										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
【特記事項・授業時間外における学習】						【成績評価の方法と基準】					
						●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）					
						●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員			
授業科目名		佐藤 直雅									
アシスタントプログラム				必修 選択	必修	授業 形態	演習	時間数	30	授業 回数	集中
[授業の学習内容と心構え] (実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
＜教員経歴＞ ヘアメイク事務所、株式会社ビーサイド代表。 ヘアメイクのマネージメントオフィスとして33年前に設立し、20名程のヘアメイクアーティストが在籍。自身もヘアメイクアップアーティストとして広告、音楽、芸能、出版、ブライダル業界等で幅広く活躍しながら、後進の育成にも力を注いでいる。そして、在学中からヘアメイクアシスタントを育成する教育及び、ヘアメイク現場経験ができる機会を与える。											
ヘアメイクアシスタントとしての知識・スキルを学ぶ。 ・ヘアメイク業界の仕組み ・ヘアメイクアシスタントとして現場で役に立つためのスキル ・ヘアメイクが関わる媒体の知識 ・就職活動のサポート											
[到達目標] ヘアメイクアシスタントとして現場で臨機応変に動けるようになる											
[使用教材、参考文献等]					[準備学習・時間外学習]						
授業毎に資料配布											
回	[授業概要]					到達目標(できるようになること)					
1	自己紹介(セルフプロデュース)					自身の強みを顧客にアピールできるようになる。					
2	業界理解 ヘアメイクについて					将来働く業界について知ることができるようになる。					
3	道具見せ・お直しパッグ中身説明					現場で必要なものを理解することできるようになる。					
4	ヘルプについて・デモンストレーション					デモンストレーションを通して、動きを理解することができるようになる。					
5	現場でのネイル・ハンドマッサージについて					デモンストレーションを通して、動きを理解することができるようになる。					
6	広告業界について					分野別にヘアメイク業界について理解することができるようになる。					
7	現場実習について					分野別にヘアメイク業界について理解することができるようになる。					
8	音楽業界について					分野別にヘアメイク業界について理解することができるようになる。					
9	業界用語について					分野別にヘアメイク業界について理解することができるようになる。					
10	テレビ業界について					分野別にヘアメイク業界について理解することができるようになる。					
11	映画・ドラマ業界について					分野別にヘアメイク業界について理解することができるようになる。					
12	芸能界について					分野別にヘアメイク業界について理解することができるようになる。					
13	作品撮影について					分野別にヘアメイク業界について理解することができるようになる。					
14	振り返り・就職活動について					これまでの振り返りを基に自身の目指すべき方向性を決めることができるようになる。					
15	振り返り・就職活動について					これまでの振り返りを基に自身の目指すべき方向性を決めることができるようになる。					
[特記事項・授業時間外における学習]					[成績評価の方法と基準] ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員			
授業科目名		高橋 由香									
着物着付け演習		必修 選択	必修	授業 形態	演習	時間数	15	授業 回数	8		
[授業の学習内容と心構え] (実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
〈教員経歴〉 着物着付け師・着物講師指導にあたり、自らも和装ブライダルの花婿・花嫁の着付けを手掛ける教員が冠婚葬祭の基礎知識をわかりやすく解説し、現代のニーズに応えられる上質の和装着付けを実施する。 基礎の浴衣から小紋の着付けまでを一人で着ることができるようになる。 自装を器具等を使用せず、どのような現場でも通用する技術を習得する。											
[到達目標]											
一人で着る着付けが出来る→小紋の着付けと名古屋帯の一重太鼓の帯結びができるようになる											
[使用教材、参考文献等]					[準備学習・時間外学習]						
回	[授業概要]					到達目標(できるようになること)					
1	着付け前の着物の準備の仕方を覚える(小紋の着付け)					着物の基本的な名称を覚える					
2						小物の用途を覚える					
3						着物の畳み方を覚える					
4	帯結び名古屋帯の準備の仕方から一重太鼓の結び方					中間試験 20					
5						着付けの手順を覚え、着られるようになる					
6						小試験 20					
7	帯あげ帯締めまで鏡を見ないでできるようになる					一連の着付けがスムーズにでき、仕上がりの完成度を上げる					
8						定期試験 60					
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
[特記事項・授業時間外における学習]					[成績評価の方法と基準]						
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)						
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		ヘアメイク科		学年	I	開講 区分	前期	担当教員			
授業科目名		メイク技術理論						内山 百奏			
		必修 選択		必修		授業 形態	演習	時間数	15	授業 回数	集中
[授業の学習内容と心構え] (実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
〈教員経歴〉ブライダル業界を経験後、美容師科の教育に携わりヘアメイク系の仕事へも学生を導いてきた講師が、メイクの基本技術を習得する検定に合格する為に、集中講座を開講する。											
[到達目標] Jキャリアメイク検定を合格。											
[使用教材、参考文献等]						[準備学習・時間外学習]					
回	[授業概要]					到達目標(できるようになること)					
1	【授業単元】身だしなみ、道具、立ち位置、ベースメイクにおける理論【到達目標】テキストに そって身だしなみ、道具名称、用途、ベースメイクにおける技術理論を練習問題を解きながら 習得する					メイクにおける基本動作や教材を理解することができるようになる。					
2											
3											
4											
5	【授業単元】ポイントメイクにおける理論、皮膚構造、顔面骨格の知識【到達目標】テキストに そって、ポイントメイクにおける技術理論や皮膚構造、顔面骨格の基礎知識を練習問題を解き ながら習得する					メイク技術の向上および骨格構造などモデルに対する施術の基本を理解することが できるようになる。					
6											
7											
8											
9	【授業単元】JESCメイク検定を受験する【到達目標】評価を受け習得度を確認する					評価を受け、自身の到達度を理解することができるようになる。					
10											
11											
12											
13											
14											
15											
[特記事項・授業時間外における学習]						[成績評価の方法と基準]					
						●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)					
						●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					